
防災訓練第1弾

豊野地区中部防災会防災訓練 実施報告書

開催日：2023年9月16日（土）

2023年9月28日

特定非営利活動法人 医療ネットワーク支援センター

豊野地区における課題

- 役員の高齢化と担い手不足
- 専門知識の不足による訓練等の改善
- 活動費や資機材の不足
- リーダーへの継続的な研修機会
- 顔の見える関係性づくりと住民への広報
- 有志やボランティアの協力

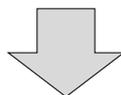
このような課題は全国の防災活動で共通の傾向として挙げられます。

それらを背景に、医療ネットワーク支援センターでは、東日本大震災による被災者の貴重な声や知見を基に、地域における「防災ケースマネジメント」をテーマに自助・共助・公助の重要性を一層伝える「**防災まちづくりプロジェクト**」を立ち上げました。

今年度は埼玉県春日部市豊野地区と連携し、3回にわたる防災訓練に運営協力します。そしてその第1弾となる訓練を9月16日（土）に実施しました。

防災訓練第1弾およびアンケート調査の振り返り・考察

- 約7割が70代以上で全体の年齢層が高く、**若い参加住民、若い担い手の不足が顕著です。**
- **防災知識や備えについて定着していない部分もあり**、これから地域の防災訓練や自主防災組織の研修を通して **地域住民が自分事として学ぶ場**を作ることが必要です。
 - 約4割が災害時の家族の集合場所を決めていない
 - 半数以上が災害伝言ダイヤル171を聞いたことがあっても使い方がわからない
 - 災害時のために知っておくべきものとして避難所運営や個人情報取り扱いの優先順位が低い
- 身の回りに避難の手助けが必要な方が暮らしているという回答が約120件あり、**日頃から地域での顔の見える関係性づくりが重要**と言えます。
- 日頃の情報収集手段としては、全年代でテレビが圧倒的に多いです。その他では年齢が上がるにつれてウェブサイトの割合が下がり、その分インターネットを介さない「新聞」「回覧板」「家族や知人との会話」などの割合が上がっていることから、地域住民への**広報には紙媒体が最も有効**と考えられます。



第2弾の訓練では参加住民や自主防災組織役員に**地域連携のネットワークを紹介**することを目的とします。

また第3弾の訓練では**避難所生活を支援するための運営体制の理解と体験**を、参加住民や自主防災組織役員、専門家、民間企業、自治体で共有します。

豊野地区中部防災会防災訓練の概要

1. 訓練日時

令和5年9月16日(土) 9時30分から12時00分まで

2. 場所

春日部市立藤塚小学校 校庭及び講堂(〒344-0011 埼玉県春日部市藤塚82番地2)

3. 参加者数実績

豊野地区災害対策協議会 中部地区自治会員(173名)

4. 主催

豊野地区災害対策協議会 中部防災会
 本田上自主防災会/本田中自治会自主防災会/本田下自治会自主防災会/
 藤塚新田地区自主防災会/六軒地区自主防災会/藤ヶ丘文化村自主防災会

5. 実施協力

春日部市(交渉中)、春日部市消防署(交渉中)、春日部市立藤塚小学校、
 春日部市立豊野中学校ボランティア部、東日本電信電話株式会社

6. 運営協力

特定非営利活動法人 医療ネットワーク支援センター

7. 取材

株式会社ジェイコム埼玉・東日本 越谷・春日部局

アンケート オモテ

防災に関するアンケート

防災訓練を機に、日頃の備えや情報収集について地域の現状を把握するため、無記名アンケートを実施します。
 アンケートは医療ネットワーク支援センターにて集計・分析を行い、豊野地区災害対策協議会へ報告いたします。そして豊野地区における防災力向上のために必要な取り組みを検討する際の貴重なデータとして活用いたします。
 つきましては、アンケートへのご理解・ご協力をお願い申し上げます。

豊野地区災害対策協議会 中部防災会 会長 時田美野吉
 運営協力 特定非営利活動法人 医療ネットワーク支援センター

避難訓練に関する質問

質問	回答(当てはまるものを○で囲んでください)
1 自宅から避難所まで行くのにかかる想定時間 ※徒歩	①~10分 ②11~20分 ③21~30分 ④31~40分 ⑤それ以上 約()分
2 避難所まで実際にかかった時間 ※徒歩 ※訓練当日に記入	①~10分 ②11~20分 ③21~30分 ④31~40分 ⑤それ以上 約()分
3 災害時の家族の集合場所を決めていますか	①決めている ②決めていない
4 ご近所に、自力での避難が難しい方がいますか	・高齢者独り住まい: ①いる ②いない ・身体が不自由な方: ①いる ②いない ・その他、避難の手伝いが必要な方: ①いる ②いない
5 災害時のために、普段から知っておく必要があると思うもの(特に必要と思うもの5つまで)	①避難経路 ②避難行動 ③安否確認方法 ③情報収集手段(通信機器等) ⑤個人情報管理 ③避難所の場所 ④避難所設営・運営 ⑤避難所の生活 ⑥地域での役割分担 ⑦災害事例 ⑧応急手当 ⑨初期消火 ⑩防災備蓄品(飲食物) ⑪防災備蓄品(生活用品) ⑫その他()

裏面に質問が続きます。

アンケート ウラ

情報に関する質問

質問	回答
6 日常で暮らしの情報を入手するとき、何を使いますか(特に多いもの3つまで)	①地域情報誌 ②回覧板 ③掲示板 ④テレビ ⑤ラジオ ⑥新聞 ⑦SNS ⑧メール ⑨会話(家族や知人から) ⑩公的機関のウェブサイト ⑪民間のウェブサイト(Yahoo!ニュースなど) ⑫公的機関のスマートフォンアプリ ⑬民間のスマートフォンアプリ ⑭その他()
7 日常で家族と通信する手段(あてはまるもの全て)	①電話 ②LINE ③メール ④特に使わない ⑤その他()
8 特に興味のある情報の分野(3つまで)	①防災 ②防犯 ③医療 ④介護 ⑤健康 ⑥子育て ⑦学校 ⑧芸術 ⑨買い物 ⑩その他()
9 災害用伝言ダイヤル(171)を知っていますか	①使い方がわかる ②聞いたことがない ③聞いたことがあるが使い方がわからない

属性に関する質問

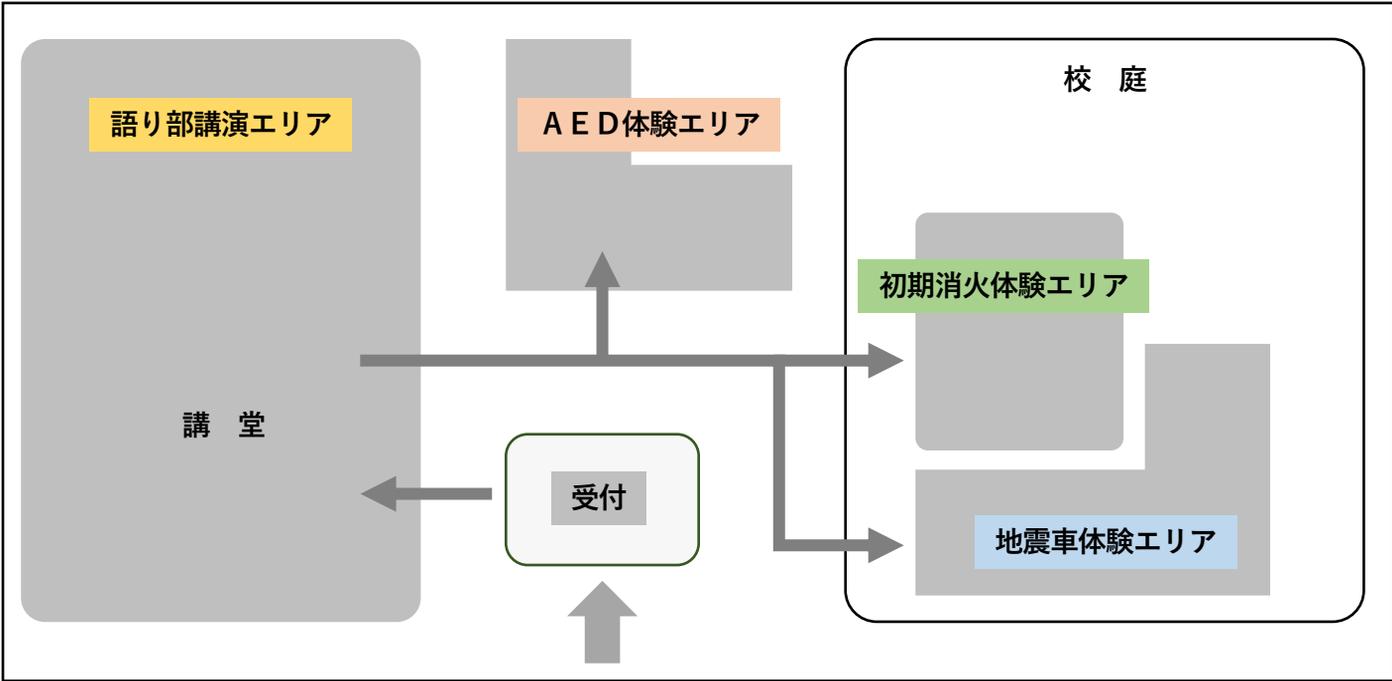
質問	回答
10 記入者の性別	①男性 ②女性 ③その他
11 記入者の年代	①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代 ⑧80代~
12 記入者の職業	①会社員 ②公務員 ③自営業 ④パート・アルバイト ⑤主婦/主夫・無職 ⑥学生 ⑦その他()
13 家族構成	①単身世帯 ②夫婦のみ ③二世帯世帯(親と子) ④三世帯世帯(親・子・孫) ⑤その他()

ご協力ありがとうございました。本アンケートは9月16日(土)防災訓練にて回収しますので、ご持参くださいますようお願いいたします。

訓練内容

時間	内容	参加者数
~9:30	(1) シェイクアウト訓練 提供：医療ネットワーク支援センター ※参加者各自自宅出発時に実施する避難訓練 ※併せて災害時における情報の取得等に関するアンケートも実施	173名
09:30 ~ 10:20	開会挨拶 (中部防災会 時田会長)	
	(2) 語り部講演 テーマ：「東日本大震災から学ぶ」 コーディネーター：医療ネットワーク支援センター 理事長 人見 祐 講師：福島県双葉町出身 大川 義秋 氏	173名
10:20 ~ 10:30	移動、休憩	
10:30 ~ 11:45	各訓練開始 ※3グループにわかれ、25分ずつ3つのエリアを回る	
	地震車体験エリア	
	(3) 地震体験車 (ゆらりん) による地震動体験 提供：春日部市 協力：豊野中学校ボランティア部	-
	(4) 防災グッズ作り教室 (新聞紙を使った「防災スリッパ」) 提供：医療ネットワーク支援センター 協力：豊野中学校ボランティア部	20名
	初期消火体験エリア	
	(5) 初期消火体験 提供：春日部市	-
	(6) 防災バッグ制作体験 提供：医療ネットワーク支援センター 協力：豊野中学校ボランティア部	7名
	(7) 防災工作体験 (キャンドル作り/折紙工作/ビーズ工作) 提供：医療ネットワーク支援センター 協力：豊野中学校ボランティア部	45名
	(8) 「171」災害用伝言ダイヤル体験 提供：東日本電信電話株式会社	-
	AED体験エリア	
	(9) AED (自動体外式除細動器) 取扱訓練 提供：春日部市消防署	-
	(10) 東日本大震災を振り返る展示 (11) 災害時における個人情報保護の重要性に関する展示 提供：医療ネットワーク支援センター 協力：豊野中学校ボランティア部	30名
(12) 防災クイズコーナー 提供：医療ネットワーク支援センター 協力：豊野中学校ボランティア部	19名	
11:45 ~ 12:00	講評 (中部防災会 時田会長)	
12:00	解散	

会場MAP





語り部講演



語り部講演



語り部講演（大川氏の箏演奏）



校庭への移動



防災バッグ作り



防災バッグ作り



防災グッズ作り（新聞紙によるスリッパ作り）



防災グッズ作り（新聞紙によるスリッパ作り）



防災工作（キャンドル作り）



東日本大震災を振り返る展示



防災クイズ



春日部市長のご訪問



「171」災害用伝言ダイヤル体験



地震体験車



初期消火体験



AED取扱い訓練



医療ネットワーク支援センター
<https://www.medical-bank.org/>



防災教育に関する情報提供サイト「コミカレ」
<https://com-col.tokyo/>

特定非営利活動法人／認定個人情報保護団体
医療ネットワーク支援センター

